

第3章 自立活動の指導の実際

◇ 指導の実際の見方

この章では、研究協力いただいた実際の指導実践を紹介します。ここでは、個々の児童生徒に応じた自立活動の指導を計画し、実践していく際の参考にさせていただけるように構成しています。

紹介する指導実践は、研究協力いただいたケースへの個別的な指導の具体例です。これら指導実践の具体的な内容が、他のケースへの指導にそのまま適応できるものではありません。ただ、個々の児童生徒に応じた自立活動の指導を実践するための大切な考え方や視点等は共通です。個々の児童生徒の実態に応じたオーダーメイドの指導を実践するために参考にさせていただけると考えます。また、自立活動の指導過程における実践者の気付きや所感、着目すべきポイント等についても紹介しています。

<構成内容>

的確な実態把握

個々の児童生徒に応じた自立活動の指導

評価と指導改善

まとめ

吹き出しでは、指導いただいた実践者の気付きや所感等の実際の声を紹介しています。



実践者



実践者

※内容の構成、実践者の気付きや所感等の紹介については、それぞれのケースによって若干異なります。

※個別のケースに係る個人情報等を内容として取り扱うことから、個人が特定できないように配慮しています。

※掲載してある各シートは、実践過程における途中段階のものもあります。

◆ ケース A 小学部児童(知的障害)への指導 3 人間関係の形成 4 環境の把握

「気持ちの切替や衝動的な言動の調整を目指した指導」

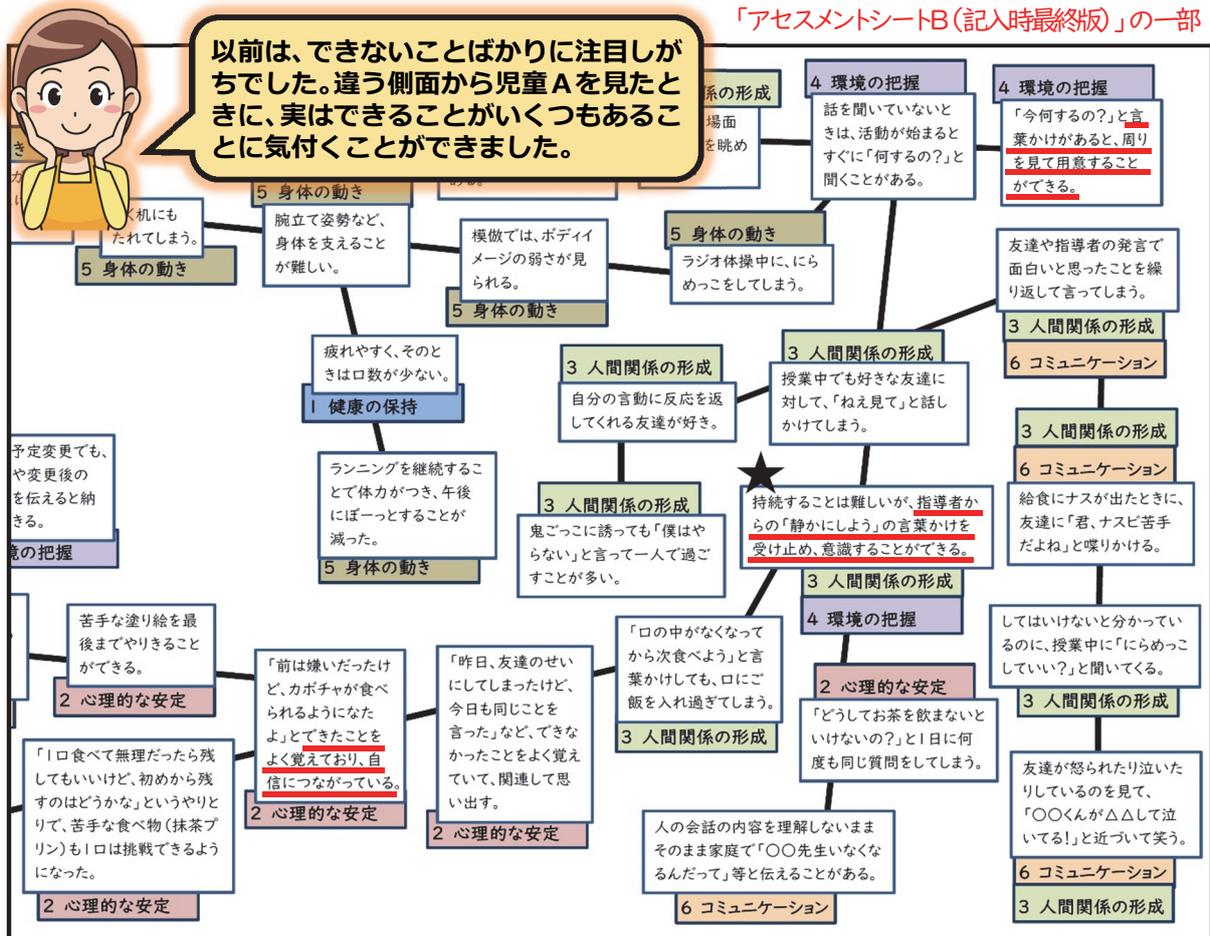
衝動性や多動性のある児童Aが、指導者からの働きかけや支援を受け止め、気持ちや衝動的な言動を自分で調整し、学習に気持ちを向けて取り組むことを目指した「環境の把握」と「人間関係の形成」の区分に焦点化した指導である。

的確な実態把握

児童Aは、小学部5年の男児である。毎日、同じ流れの学習準備や更衣等については、指導者からの言葉かけ等の支援がなくても自分で判断して行動に移すことができる。

同じ学級の児童や指導者が発する言葉や、廊下から聞こえてくる物音等に敏感に反応して、自分の言動を抑えることが難しい姿が何度も見られていた。

「アセスメントシートB(記入時最終版)」の一部



< 的確な実態把握により見えてきた児童Aの実態 >

- * 指導者からの働きかけを受け止め、自分の言動を調整できることもある。
- * できたこと等をよく覚えており、自信の獲得につながっている。

児童Aへの自立活動の指導

的確な実態把握から見えてきた、児童Aがある程度自分自身で言動を調整する力があることや、成功体験が自信の獲得につながっていることに着目して指導を設定した。

指導目標の設定が難しかったのですが、自立活動の指導としての目標が設定できるように、「自立活動の内容6区分27項目」を参考にしました。



「プロセスシート」の一部

⑥ 中心となる情報(付箋)	持続することは難しいが、指導者からの「静かにしよう」の言葉かけを受け止め、意識することができる。	<table border="1"> <tr> <td>内容自立活動6区分の</td> <td><input type="checkbox"/> 1 健康の保持</td> <td><input type="checkbox"/> 2 心理的な安定</td> <td><input type="checkbox"/> 3 人間関係の形成</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 4 環境の把握</td> <td><input type="checkbox"/> 5 身体の動き</td> <td><input type="checkbox"/> 6 コミュニケーション</td> </tr> </table>	内容自立活動6区分の	<input type="checkbox"/> 1 健康の保持	<input type="checkbox"/> 2 心理的な安定	<input type="checkbox"/> 3 人間関係の形成		<input checked="" type="checkbox"/> 4 環境の把握	<input type="checkbox"/> 5 身体の動き	<input type="checkbox"/> 6 コミュニケーション																		
内容自立活動6区分の	<input type="checkbox"/> 1 健康の保持	<input type="checkbox"/> 2 心理的な安定	<input type="checkbox"/> 3 人間関係の形成																									
	<input checked="" type="checkbox"/> 4 環境の把握	<input type="checkbox"/> 5 身体の動き	<input type="checkbox"/> 6 コミュニケーション																									
⑦ 中心となる情報(付箋)の分析	<table border="1"> <tr> <td>観点</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 活動内容</td> <td><input type="checkbox"/> 活動量</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 活動の流れ</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 活動の場</td> <td><input type="checkbox"/> 道具等</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> ペアやグループ</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 言葉かけ等</td> <td><input type="checkbox"/> 主体的な姿勢</td> </tr> <tr> <td>行動・姿・様子</td> <td>話を聞く、待つ等の受け身的な状況では、集中することが難しい。 工作や調理、プリント等の具体的な活動に取り組む際は、気持ちを向けて取り組むことができる。</td> <td></td> <td>活動の導入時やまとめなど、指導者の話を聞く時間が長くなる場面では、集中が難しい。</td> <td>気になる友達二人の様子をよく見ており、学習中であっても、自分から話しかけてしまうことがある。</td> <td></td> <td>朝の会や机上学習、運動等のどの学習であっても、同じ姿を見せることが多いが、気になる友達と別々の学習場面では、気持ちを落ち着けて、比較的静かに取り組むことができる。</td> <td>気持ちが高ぶってしまっから言葉かけを行っても、気持ちを抑えることは難しい。「分かった。できる」と返事はするが、しゃべり続けてしまう。 指導者が目線で合図をすると、それを受け止め、学習に気持ちを向けることができる場面もある。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>重点</td> <td><input type="checkbox"/> 指導目標へ</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 指導目標へ</td> <td><input type="checkbox"/> 指導目標へ</td> </tr> </table>	観点	<input checked="" type="checkbox"/> 活動内容	<input type="checkbox"/> 活動量	<input checked="" type="checkbox"/> 活動の流れ	<input checked="" type="checkbox"/> 活動の場	<input type="checkbox"/> 道具等	<input checked="" type="checkbox"/> ペアやグループ	<input checked="" type="checkbox"/> 言葉かけ等	<input type="checkbox"/> 主体的な姿勢	行動・姿・様子	話を聞く、待つ等の受け身的な状況では、集中することが難しい。 工作や調理、プリント等の具体的な活動に取り組む際は、気持ちを向けて取り組むことができる。		活動の導入時やまとめなど、指導者の話を聞く時間が長くなる場面では、集中が難しい。	気になる友達二人の様子をよく見ており、学習中であっても、自分から話しかけてしまうことがある。		朝の会や机上学習、運動等のどの学習であっても、同じ姿を見せることが多いが、気になる友達と別々の学習場面では、気持ちを落ち着けて、比較的静かに取り組むことができる。	気持ちが高ぶってしまっから言葉かけを行っても、気持ちを抑えることは難しい。「分かった。できる」と返事はするが、しゃべり続けてしまう。 指導者が目線で合図をすると、それを受け止め、学習に気持ちを向けることができる場面もある。		重点	<input type="checkbox"/> 指導目標へ	<input checked="" type="checkbox"/> 指導目標へ	<input type="checkbox"/> 指導目標へ					
観点	<input checked="" type="checkbox"/> 活動内容	<input type="checkbox"/> 活動量	<input checked="" type="checkbox"/> 活動の流れ	<input checked="" type="checkbox"/> 活動の場	<input type="checkbox"/> 道具等	<input checked="" type="checkbox"/> ペアやグループ	<input checked="" type="checkbox"/> 言葉かけ等	<input type="checkbox"/> 主体的な姿勢																				
行動・姿・様子	話を聞く、待つ等の受け身的な状況では、集中することが難しい。 工作や調理、プリント等の具体的な活動に取り組む際は、気持ちを向けて取り組むことができる。		活動の導入時やまとめなど、指導者の話を聞く時間が長くなる場面では、集中が難しい。	気になる友達二人の様子をよく見ており、学習中であっても、自分から話しかけてしまうことがある。		朝の会や机上学習、運動等のどの学習であっても、同じ姿を見せることが多いが、気になる友達と別々の学習場面では、気持ちを落ち着けて、比較的静かに取り組むことができる。	気持ちが高ぶってしまっから言葉かけを行っても、気持ちを抑えることは難しい。「分かった。できる」と返事はするが、しゃべり続けてしまう。 指導者が目線で合図をすると、それを受け止め、学習に気持ちを向けることができる場面もある。																					
重点	<input type="checkbox"/> 指導目標へ	<input type="checkbox"/> 指導目標へ	<input type="checkbox"/> 指導目標へ	<input type="checkbox"/> 指導目標へ	<input type="checkbox"/> 指導目標へ	<input type="checkbox"/> 指導目標へ	<input checked="" type="checkbox"/> 指導目標へ	<input type="checkbox"/> 指導目標へ																				
⑧ 指導目標	指導者が提示したことに対して、気持ちを向けて取り組むことができる。	<table border="1"> <tr> <td>内容自立活動6区分の</td> <td><input type="checkbox"/> 1 健康の保持</td> <td><input type="checkbox"/> 2 心理的な安定</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 3 人間関係の形成</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 4 環境の把握</td> <td><input type="checkbox"/> 5 身体の動き</td> <td><input type="checkbox"/> 6 コミュニケーション</td> </tr> </table>	内容自立活動6区分の	<input type="checkbox"/> 1 健康の保持	<input type="checkbox"/> 2 心理的な安定	<input checked="" type="checkbox"/> 3 人間関係の形成		<input checked="" type="checkbox"/> 4 環境の把握	<input type="checkbox"/> 5 身体の動き	<input type="checkbox"/> 6 コミュニケーション																		
内容自立活動6区分の	<input type="checkbox"/> 1 健康の保持	<input type="checkbox"/> 2 心理的な安定	<input checked="" type="checkbox"/> 3 人間関係の形成																									
	<input checked="" type="checkbox"/> 4 環境の把握	<input type="checkbox"/> 5 身体の動き	<input type="checkbox"/> 6 コミュニケーション																									
⑨ 具体的な指導内容	指導者からの働きかけを受け止め、学習予定の説明に気持ちを向ける。	学指導設定面 日常生活の指導「朝の会」 指導者が学習の予定を説明する場面(5分程度)																										
手立て支援内容	学習が始まる前に児童Aが頑張ることや約束事を明確に提示する。	学習に取り組むことができるように環境(座席位置、音・声・廊下等からの刺激)を整える。	言葉かけが入りにくいときは、背中をさすことや、深呼吸をすることを促す(フローチャートで提示する)。																									

児童Aへの自立活動の指導では、「朝の会」の学習場面で児童Aが見せる衝動的な言動を制止したり、注意したりするのではなく、児童Aが興味をもつことができるように指導者が発問や言葉かけを行うことで、自分の気持ちを切り替え、学習に気持ちを向けることができるように指導を行うことが効果的であると考えた。

<指導目標を設定した際のポイント>

*指導者からの働きかけ(目線での合図)を受け止め、意識することができる児童Aの姿から、その力を生かして主体的な姿を引き出す視点を大切にしたこと。



まずは、「朝の会」において指導者が学習予定を説明する場面に限定して指導を始めました。そして、できる経験を積み上げながら、少しずつ自己調整ができる場面や状況を増やしていこうと考えました。



副指導者が児童Aに支援している場面

◆ ケースB 中学部生徒(肢体不自由)への指導 6 コミュニケーション

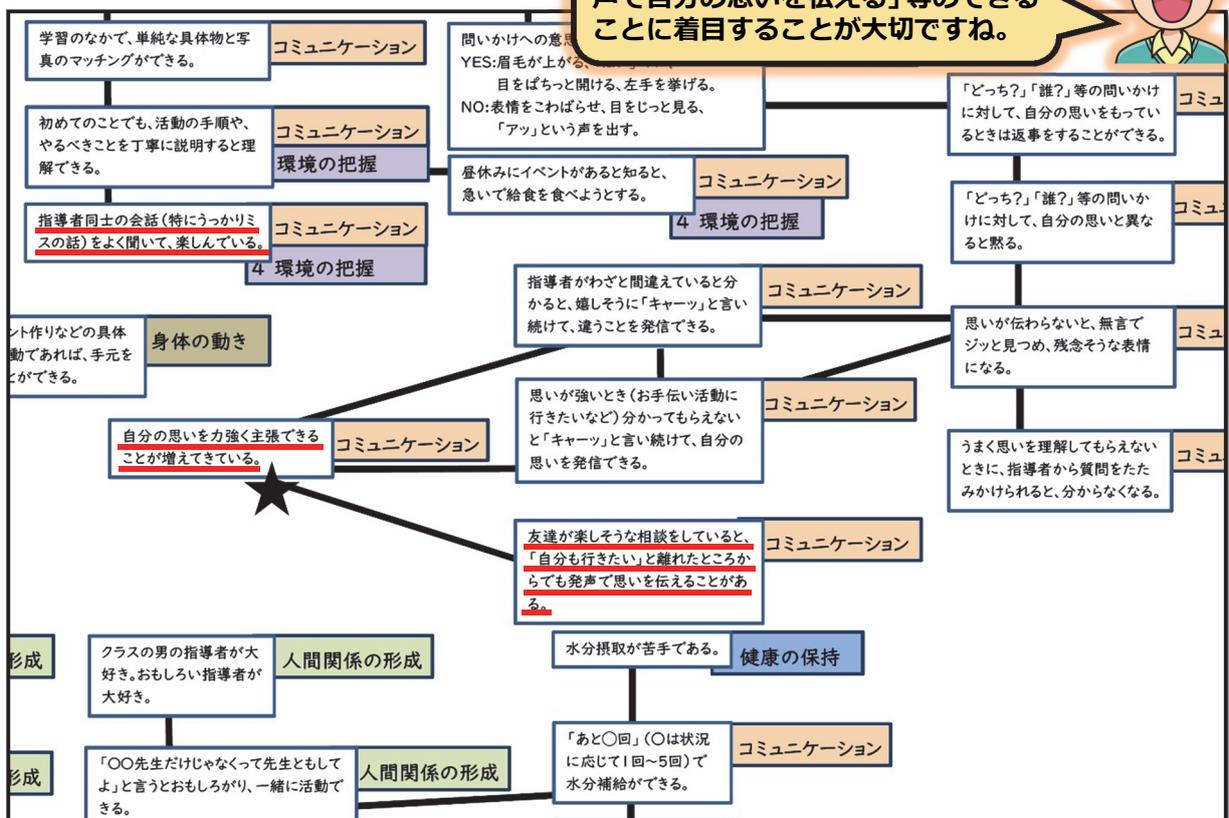
「自分の思いや考えを伝えられることを目指した指導」

「身体の動き」に課題があるが、指導者と意思の疎通が図れないとすぐに伝えることを諦めてしまうことが多い生徒Bに、他者に伝えたいという思いを膨らませ、その思いを明確に伝えられることを目指した「コミュニケーション」の区分に焦点化した指導である。

的確な実態把握

生徒Bは、中学部2年の女子生徒である。人と関わることが好きで、指導者から言葉をかけられると笑顔になり、嬉しい気持ちや喜びを発声や表情等で表現することができる。指導者とやりとりする場面では、自分の思いが伝わらず、意思の疎通が図れていないと感じると残念そうな表情をするだけで、伝えることを諦めてしまう姿が何度も見られていた。

「アセスメントシートB(記入時最終版)」の一部



生徒Bのできないことや困難なことではなく、「離れたところからでも発声で自分の思いを伝える」等のできることに着目することが大切です。



< 的確な実態把握により見えてきた生徒Bの実態 >
 * 周囲の状況を見て、「一緒にやりたい」等の自分の思いをもっている。
 * 途中で諦めてしまうこともあるが、力強く自分の思いを主張できることもある。

生徒Bへの自立活動の指導

生徒Bへの指導については、まず生徒Bが「やりたい」や「楽しい」と思える主体的な活動を通して、自分の思いを他者に伝えようとする必要があると考え、指導目標や具体的な指導内容を設定した。

自分の思いをしっかりもち、相手に伝えようとする姿勢を育てていくためには、どんな学習や場面で指導を行えばよいのか、悩みました。



「プロセスシート」の一部

⑥ 中心となる 情報(付箋)	自分の思いを力強く主張できるが増えてきている。					内 容 立 活 6 区 分 の	<input type="checkbox"/> 1 健康の保持	<input type="checkbox"/> 2 心理的な安定	<input type="checkbox"/> 3 人間関係の形成
							<input type="checkbox"/> 4 環境の把握	<input type="checkbox"/> 5 身体の動き	<input checked="" type="checkbox"/> 6 コミュニケーション
⑦ 中心となる 情報(付箋) の分析	観点	<input checked="" type="checkbox"/> 活動内容	<input type="checkbox"/> 活動量	<input type="checkbox"/> 活動の流れ	<input type="checkbox"/> 活動の場	<input type="checkbox"/> 道具等	<input type="checkbox"/> ペアやグループ	<input type="checkbox"/> 言葉かけ等	<input checked="" type="checkbox"/> 主体的な姿勢
	行動・姿・様子	朝の当番活動や学習等は、担当や順番が明確には決まっておらず、生徒Bが憧れやイメージをもちやすいことから、やりたいと力強く主張できることが多い。					特定の友達や指導者というよりも、みんなと一緒にやりたいという気持ちが強く、自分も一緒にやりたいと感じたときには、力強く主張できることが多い。	複数の指導者からの言葉かけがあっても、それぞれの指導者に対して自分の気持ちを主張できることが多い。	やりたい気持ちが高まっているときには、力強く主張できることが多い。
	重点	<input type="checkbox"/> 指導目標へ	<input type="checkbox"/> 指導目標へ	<input type="checkbox"/> 指導目標へ	<input type="checkbox"/> 指導目標へ	<input type="checkbox"/> 指導目標へ	<input type="checkbox"/> 指導目標へ	<input type="checkbox"/> 指導目標へ	<input checked="" type="checkbox"/> 指導目標へ
⑧ 指導目標	自分の思いを主張し、実現する。					内 容 立 活 6 区 分 の	<input type="checkbox"/> 1 健康の保持	<input type="checkbox"/> 2 心理的な安定	<input type="checkbox"/> 3 人間関係の形成
							<input type="checkbox"/> 4 環境の把握	<input type="checkbox"/> 5 身体の動き	<input checked="" type="checkbox"/> 6 コミュニケーション
⑨ 具体的な 指導内容	自分の思いを主張する経験を増やす。					学 指 導 場 面 の	日常生活の指導場面を中心に 学校生活全体で設定		
手立て 支援内容	生徒Bがやりたいと思うことができるような活動や場面を設定する。	クラスの他生徒や指導者とのやりとりすることにより、生徒Bの思いを引き出すようにする。	生徒Bとのやりとりのなかで、思いを実現できるように、複数の指導者で揺さぶりをかける。						

当初は、「朝の会」の学習場面に限定して指導を行ってきたが、生徒Bが自分の思いを主張し、それを実現する経験を増やしていくためには、生徒B自身の自発的な思いの表出に合わせて、その場を逃さずに指導を行うことが効果的であると考えた。そのため、限定された学習場面だけでなく、同じ学級の指導者同士で自立活動における指導の目標を共有し、学校生活の様々な場面と関連付けて指導を行うこととした。

<指導場面を限定せずに自立活動の指導を行う際の留意点>

*連携する指導者間で、指導の目標や手立て・支援内容等を明確にして共有を図り指導を行うこと(曖昧な内容では、指導に対する評価が難しくなるため)。



「朝の会」以外の場面におけるコミュニケーションの指導

最初は「朝の会」の場面に限定して指導を行ったことで、手立てが明確となり、指導に対する評価を意識できるようになりました。実践した指導を振り返り、よりよい指導に改善していく意識が高くなりました。



評価と指導改善

「プロセスシート」の一部

様々な場面で関連付けて指導を行ったことで、生徒B自身から、自分の思いを主張する場面が増えてきました。



<p>⑪ 児童生徒の様子</p>	<p>1 体育のキャスターボードでの学習において、他の生徒全員が2回取り組み、生徒Bだけいいという状況であった。意図的に「指導者が言うと、「キャッチ」と声をい！（まだ乗ってない!）」と発信し、けた。給食場面では、指導者の忘れ物と一緒に来て欲しい状況を設定するきたいと主張した。</p> <p>2 給食の場面において、友達が苦手者にプレゼントしたところ、生徒Bもいう。そこで、他の指導者が「〇〇先生にもちょうだいよ」と言うと、生徒Bは「いいえ、私にだけあげたい」と主張し、指導者から真剣に「かわいそうだから、あげよう」と言葉かけられ、自分の思いを主張することなく、黙ってしまふ。</p> <p>3 別の場面において、別の指導者が「めんどくさい」と言葉をかけられ、一緒にいた指導者が「もう一人て教室を出てしまふ。しゅーションが多く、意図的に指導者がすることを分かっており、笑顔で出て行った声を出し続ける。</p> <p>4</p> <p>5 <u>遊びの指導において、終わりのあいさつをしたいと手を挙げて主張する。やりたい友達と、どうするか相談する雰囲気のなか、自分の思いを主張し続け、譲ることはなかった。その後、友達と一緒にあいさつすることにすると、友達の発声や礼に引っぱられることなく、自分のタイミングで発声し続けた。</u></p> <p>6</p>																		
<p>⑫ 児童生徒の評価</p>	<p>指導を改善する前は、生徒Bが自分の思いを主張する際に寄り添う指導者がいたが、改善後は、あえて、寄り添う指導者がいない状況で揺さぶりをかけ、そこでも思いを主張し実現できることを目指した。担任の指導者であれば、自分の思いを分かってもらえているという安心感があるようで、一人で主張できることが多かった。また、主張する相手として、より実現できそうな指導者を見たり、そこで伝わらないと話しかける他の指導者を見たりと、力強く主張することができた。しかし、笑って主張することが多く、設定している状況に慣れてしまっている。友達関係のなかで、手強さ等を意識しながら自分の思いを実現していくこともあるため、引き続き、引き出していきたい姿である。担任以外の指導者に対しては、緊張していることで主張が弱くなることもあった。担任の指導者に対しては、年度当初は強く自分の思いを主張することは多くはなかったため、自分の思いを分かってもらえているという安心感のなかで積み上がってきている力である。</p>																		
<p>指導に対する評価</p>	<table border="1"> <tr> <td>観点</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 活動内容の選択</td> <td><input type="checkbox"/> 活動量の調整</td> <td><input type="checkbox"/> 活動の流れの設定</td> <td><input type="checkbox"/> 活動の場の設定</td> <td><input type="checkbox"/> 道具等の選択</td> <td><input type="checkbox"/> ペアやグループの設定</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 直接的な言葉かけの工夫</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 主体的な姿勢を促す工夫</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>友達と一緒にあったり、特別感があつたりすることのなかで、自分でやりたい思いを主張し始めた場面で指導を行ったことは、適当であった。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>指導者に分かってもらえているという安心感があれば、異なる状況で、自分で何とか伝えようと、力強く主張できていた。</td> <td>生徒Bに指導者が寄り添わない状況で揺さぶりをかけることで、自分で何とか伝えようと、力強く主張できていた。</td> </tr> </table>	観点	<input checked="" type="checkbox"/> 活動内容の選択	<input type="checkbox"/> 活動量の調整	<input type="checkbox"/> 活動の流れの設定	<input type="checkbox"/> 活動の場の設定	<input type="checkbox"/> 道具等の選択	<input type="checkbox"/> ペアやグループの設定	<input checked="" type="checkbox"/> 直接的な言葉かけの工夫	<input checked="" type="checkbox"/> 主体的な姿勢を促す工夫	内容	友達と一緒にあったり、特別感があつたりすることのなかで、自分でやりたい思いを主張し始めた場面で指導を行ったことは、適当であった。						指導者に分かってもらえているという安心感があれば、異なる状況で、自分で何とか伝えようと、力強く主張できていた。	生徒Bに指導者が寄り添わない状況で揺さぶりをかけることで、自分で何とか伝えようと、力強く主張できていた。
観点	<input checked="" type="checkbox"/> 活動内容の選択	<input type="checkbox"/> 活動量の調整	<input type="checkbox"/> 活動の流れの設定	<input type="checkbox"/> 活動の場の設定	<input type="checkbox"/> 道具等の選択	<input type="checkbox"/> ペアやグループの設定	<input checked="" type="checkbox"/> 直接的な言葉かけの工夫	<input checked="" type="checkbox"/> 主体的な姿勢を促す工夫											
内容	友達と一緒にあったり、特別感があつたりすることのなかで、自分でやりたい思いを主張し始めた場面で指導を行ったことは、適当であった。						指導者に分かってもらえているという安心感があれば、異なる状況で、自分で何とか伝えようと、力強く主張できていた。	生徒Bに指導者が寄り添わない状況で揺さぶりをかけることで、自分で何とか伝えようと、力強く主張できていた。											
<p>⑬ 指導改善の方向性</p>	<table border="1"> <tr> <td>観点</td> <td><input type="checkbox"/> 活動内容の選択</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>方向性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> <u>ペアやグループの設定</u> 見通しがもちやすい活動において、<u>友達に対して、指導者とは違う手強さを感じた場面でも、自分の思いを主張し実現していけるようにする。</u></td> <td><input checked="" type="checkbox"/> <u>直接的な言葉かけの工夫</u> 本当に自分の思いを伝えたいと生徒Bが感じるような言葉かけ等の支援を行うようにする。</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> <u>主体的な姿勢を促す工夫</u> <u>思考や選択、相談する場面を設定することで、自分の思いをしっかりともち、その思いを主張することで実行できることを大切に</u>にする。</td> </tr> </table>	観点	<input type="checkbox"/> 活動内容の選択	<input type="checkbox"/>	方向性	<input checked="" type="checkbox"/> <u>ペアやグループの設定</u> 見通しがもちやすい活動において、 <u>友達に対して、指導者とは違う手強さを感じた場面でも、自分の思いを主張し実現していけるようにする。</u>	<input checked="" type="checkbox"/> <u>直接的な言葉かけの工夫</u> 本当に自分の思いを伝えたいと生徒Bが感じるような言葉かけ等の支援を行うようにする。	<input checked="" type="checkbox"/> <u>主体的な姿勢を促す工夫</u> <u>思考や選択、相談する場面を設定することで、自分の思いをしっかりともち、その思いを主張することで実行できることを大切に</u> にする。											
観点	<input type="checkbox"/> 活動内容の選択	<input type="checkbox"/>																	
方向性	<input checked="" type="checkbox"/> <u>ペアやグループの設定</u> 見通しがもちやすい活動において、 <u>友達に対して、指導者とは違う手強さを感じた場面でも、自分の思いを主張し実現していけるようにする。</u>	<input checked="" type="checkbox"/> <u>直接的な言葉かけの工夫</u> 本当に自分の思いを伝えたいと生徒Bが感じるような言葉かけ等の支援を行うようにする。	<input checked="" type="checkbox"/> <u>主体的な姿勢を促す工夫</u> <u>思考や選択、相談する場面を設定することで、自分の思いをしっかりともち、その思いを主張することで実行できることを大切に</u> にする。																

まとめ

生徒Bへの自立活動の指導では、身体面の機能維持や改善を図る取組だけではなく、生徒Bが自分の思いをしっかりともち、他者に伝えることができるようになることを目指して指導を行ってきた。実践では、同じ学級の指導者だけではなく、自立活動専任担当者とも協働して取り組むことで、生徒Bが見せる姿を多角的な視点から評価し、改善を繰り返すなかで効果的な指導を展開することができた。また、生徒Bの「持てる力を高める」視点が様々な場面の指導で意識され、常により適切な指導を目指した改善が図られるようになった。



自立活動の指導における目標や手立てを明確にし、指導者間で連携して指導を行うことができれば、生徒Bの力を引き出し、伸ばしていくことができると感じました。



選択肢を提示している場面